【様式第5号】

地域雇用活性化推進事業　改善計画（令和〇年度実績）

協議会名　〇〇〇〇協議会

事業開始年月　令和〇年〇月

※改善計画は、事業継続可否を判断するに当たって事業選抜・評価委員会の承認を得る必要があるものです。
「実績が低調となった要因」、「見直しの具体的内容」の各欄の記載に当たっては、必ず以下の点に留意してください。
〇数量的な根拠を用いるなど、要因分析や見直し内容の妥当性を客観的に判断できるよう記載してください。
〇「開催時期を早める」「周知時期を確保する」「周知を強化する」といった記載だけでなく、なぜそうすることで改善に繋がるのか、具体的にいつ、どのようにするのか等、詳細に記載してください。

1.「A　事業所の魅力向上、事業拡大の取組」

NO.	都道府県名	協議会名	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度			アウトカム			実績が低調となった要因	見直しの具体的内容	備考
				計画	実績	達成率	回答全体数	「役立った」と回答した	満足度	計画	実績	達成率			
													（記載例：アウトプット低調の場合） 地域内の重点分野該当事業所〇社のうち〇社に対して、〇〇〇の方法で声かけを行い、さらに商工会議所や〇〇地域組合と連携して、〇〇〇の情報を〇〇〇のタイミングで周知したが低調となった。 そのため、〇社に対する聞き取り調査を行ったところ、本セミナーの〇〇〇が受講の妨げになっているとの回答が多数あったことから、〇〇〇が実績低調の要因であると分析する。	（記載例：アウトプット低調の場合） 次年度〇月以降の開催に際しては、セミナーの〇〇〇を〇〇〇に見直すこととする。これにより、〇〇〇という理由で受講できなかった事業所にとっては受講しやすくなる。 また、この変更点について前回受講できなかった〇社に対して個別に説明して再度声かけする。 これらの対策により、少なくとも〇社の受講が見込まれることから、計画数〇社の達成が見込まれる。	
													（記載例：アンケート満足度低調の場合） アンケート結果から、「補助金の説明がわかりづらい」や、「アーカイブでも観られるようにして欲しい」との声が多かった（〇%）。 特にセミナー全体の〇〇割を占める〇〇に関する講義はアーカイブ配信をしていなかったため、実績低調の一番の要因であると分析する。	（記載例：アンケート満足度低調の場合） 事業主が注目しやすい補助金の講義については、事業所の環境改善や採用力向上に活用できるよう設定しているが、理解が深まり活用が進むように、具体例を多く取り入れたり、補助金・助成金の対象を絞るなどして、説明を充実させる。 また、ニーズの多い〇〇に関する講義については、事業所側が振り返りできるようアーカイブ配信の実施を調整したい。	

2.「B　人材育成の取組」

NO.	都道府県名	協議会名	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度			アウトカム			実績が低調となった要因	見直しの具体的内容	備考
				計画	実績	達成率	全体数	「役立った」と回答した	満足度	計画	実績	達成率			
													（記載例：アウトカム低調の場合） 受講者全員について、ハローワークと連携して〇〇〇の方法で地域内事業所とのマッチングに努めたが低調となった。 その後のハローワーク担当者との検討会では、受講者のうち〇人は〇〇〇のスキルが不十分であったため採用に至らなかった可能性があるとの意見があった。 今回のカリキュラムは〇〇〇であったため、〇〇〇という事業所のニーズが十分反映できていかったことが実績低調の要因であると分析する。	（記載例：アウトカム低調の場合） 次年度〇月以降の開催に際しては、セミナーの〇〇〇を〇〇〇に見直すこととする。 地域内事業所の〇社については、〇〇〇であることから、この求人ニーズに合ったスキルアップに努める。 また、C事業の〇〇〇面接会と連携させ、〇〇〇の事業所〇社の求人と積極的にマッチングさせる。 これらの対策により、〇人の受講者見込みのうち少なくとも〇%は採用につなげると見込まれるため、計画数〇人の達成が見込まれる。	

3.「C　就職促進の取組」

NO.	都道府県名	協議会名	対象となるメニュー名	アウトプット			アンケート満足度（参考値）			アウトカム			実績が低調となった要因	見直しの具体的内容	備考
				計画	実績	達成率	全体数	「役立った」と回答した	満足度	計画	実績	達成率			
				企業側	企業側	企業側									
				求職者側	求職者側	求職者側									
				企業側	企業側	企業側									
				求職者側	求職者側	求職者側									